MS315－10002/3/4
オーバーフェンダー
Street Monster/Field Monster 取付・取扱要領書

この度はTRDオーバーフェンダーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備　考
MS315-10002-A0	ﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ（070）	C－HR　’19.10～	
MS315-10002-B1	ﾒﾀﾙｽﾄﾘｰﾑﾒﾀﾘｯｸ（1K0）		
MS315-10002-C0	ﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ（209）		
MS315-10002-F0	ｲｴﾛｰ（5A3）		
MS315-10003-NP	未塗装品（ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理品）		
MS315-10004	シボ		

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

No.	品　名	個数	備考
①	フロントオーバーフェンダー RH	1	
②	フロントオーバーフェンダー LH	1	
③	リヤオーバーフェンダー No.1 RH	1	
④	リヤオーバーフェンダー No.1 LH	1	
⑤	リヤオーバーフェンダー No.2 RH	1	
⑥	リヤオーバーフェンダー No.2 LH	1	
⑦	タッピングスクリューA	10	6×25
⑧	タッピングスクリューB	2	5×16
⑨	Jナット	2	M5
⑩	スペーサーA	8	t＝5mm
⑪	スペーサーB	2	t＝8mm
⑫	クリップ	2	
⑬	ステッカーFR（RH／LH）	各2	1枚予備
⑭	ステッカーRR（RH／LH）	各2	1枚予備
⑮	PACプライマー（赤袋）	1	N－200
⑯	PACプライマー（青袋）	1	K－500
⑰	型紙	1	
⑱	取付・取扱説明書（本書）	1	本書

※MS315-10004 にステッカー⑬⑭は同梱されません。

以下、 MS315-10003-NP のみに同梱

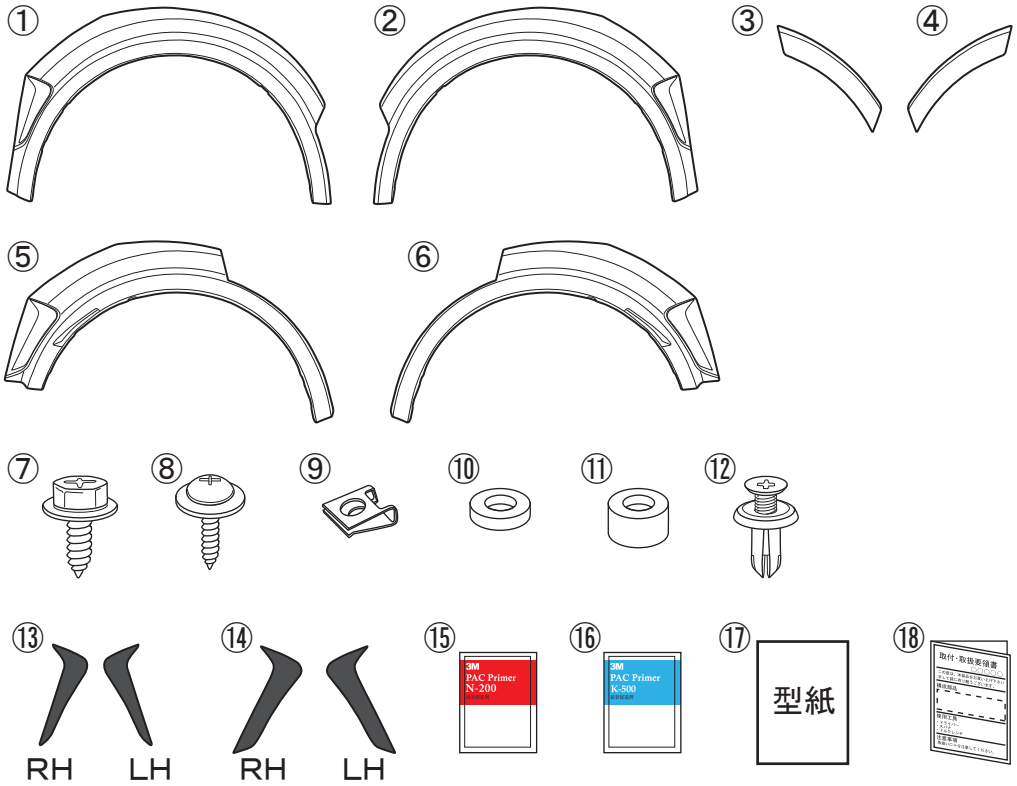
No.	品　名	個数	備考
⑲	モール（イ型）	2	黒 :L＝1800
⑳	モール（イ型）	1	黒 :L＝2100
㉑	モール（イ型）	1	黒 :L＝1000
㉒	モール（L型）	1	黒 :L＝800
㉓	PACプライマー（青袋）	1	K－500

以下、 MS315-10004 のみに同梱

No.	品　名	個数	備考
㉔	ブラックアウトフィルム	2	15×60

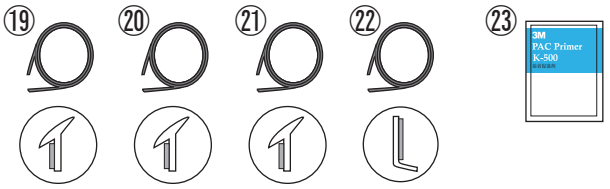
※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



※MS315-10004 にステッカー⑬⑭は同梱されません。

以下、 MS315-10003-NP（未塗装品セット）のみに同梱



以下、 MS315-10004 のみに同梱

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので７０℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

Racing Development TRD

■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・１～３
２．取付上のご注意（取付作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
３．目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・５
４．未塗装品の取扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６～７
５．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８～１５
６．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

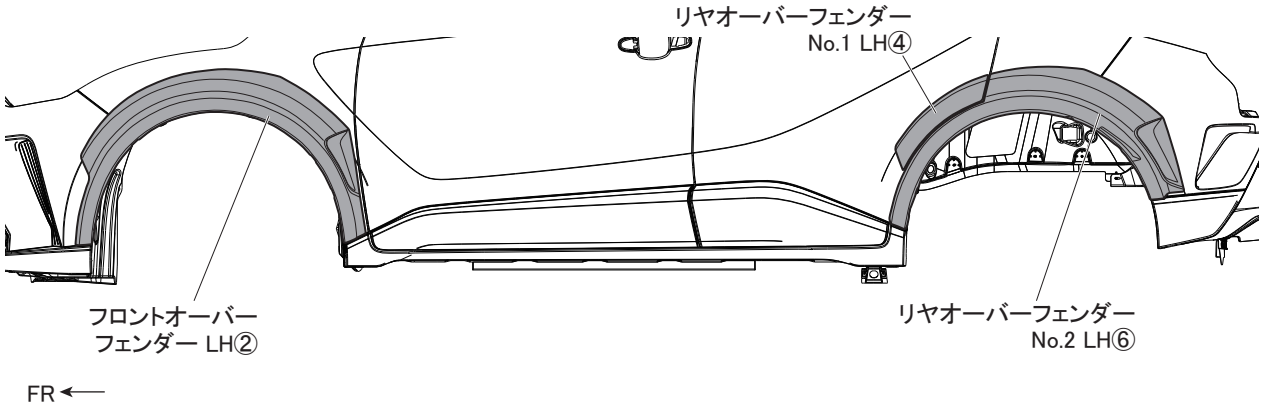
・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：３．０mm/６．０mm/８．０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス
・スキージー・中性洗剤・水道水

■ 保証について

本商品は、１年・20,000Ｋｍの保証を実施致します。
（１年または20,000Ｋｍ走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト<https://www.trdparts.jp/>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

※LH図示



塗装済み品の取付けは、８ページ【ステッカーの貼付け】に進み作業を行なってください。

■未塗装品の取扱いについて

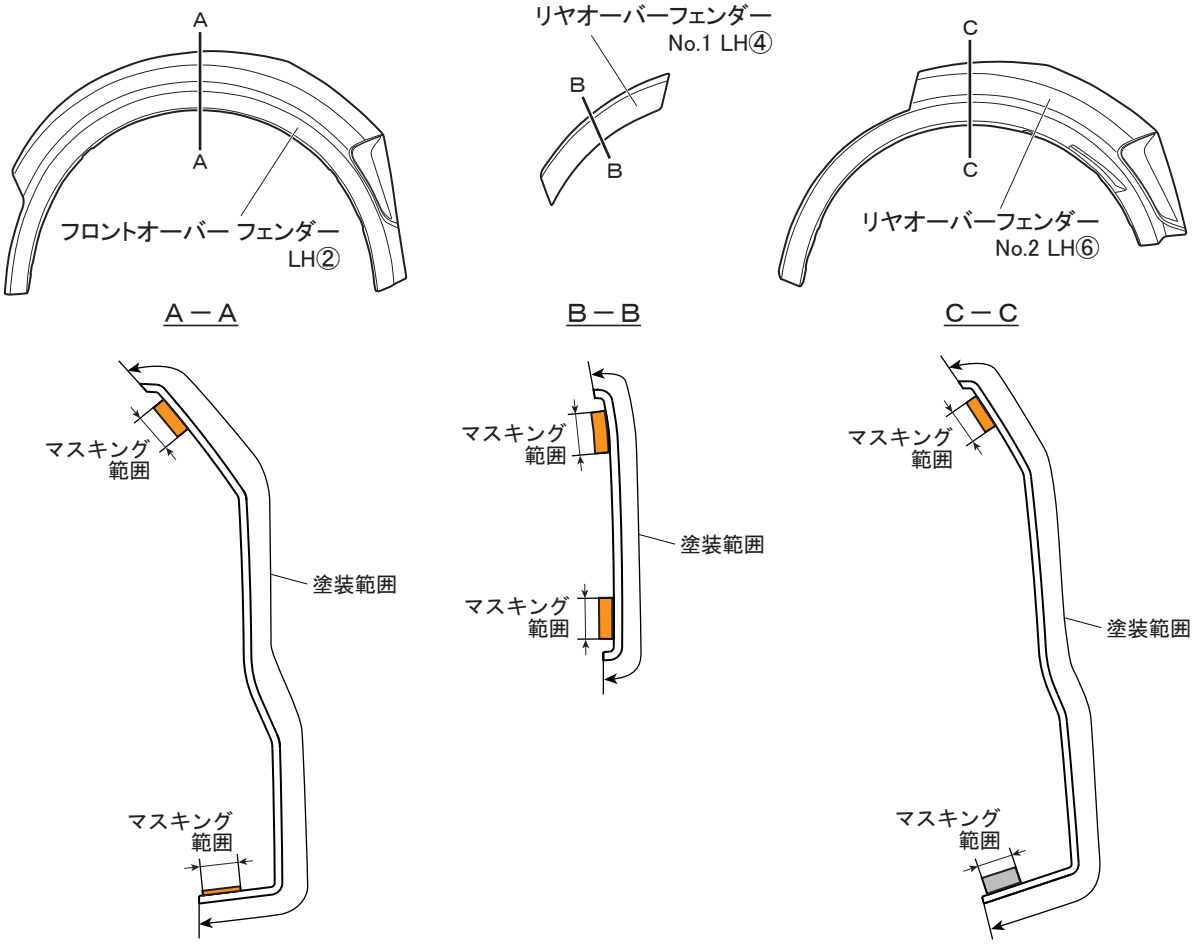
下記は未塗装品（MS315-10003-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示して おり、RH側も同様に行ってください。

ロオーバーフェンダーの塗装

1. 図1のようにフロントオーバーフェンダー①②、リヤオーバーフェンダーNo.1③④、リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥を車両色で塗装する。

図1　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：乾燥温度を 70℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。 強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

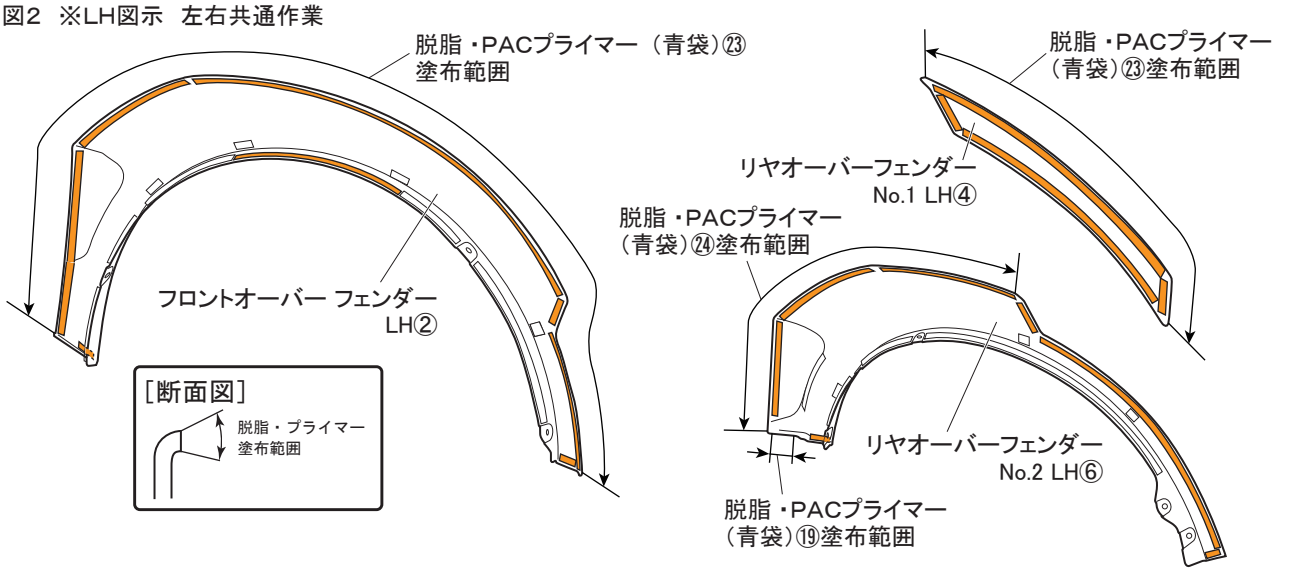
⚠警告：両面テープには、 絶対に塗装しないでください。 接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

⚠注意：脱脂をする場合は、 イソプロピルアルコール（以下IPAという） 又はホワイトガソリンを使用し、 シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。 プライマーが溶ける恐れがあります。

□モールの貼付け

1. 図2のようにフロントオーバーフェンダー①②、リヤオーバーフェンダーNo.1③④、リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥のモール⑲⑳㉑(イ型)、モール㉒(L型) 貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマー（青袋)㉓を塗布する。

図2　※LH図示　左右共通作業

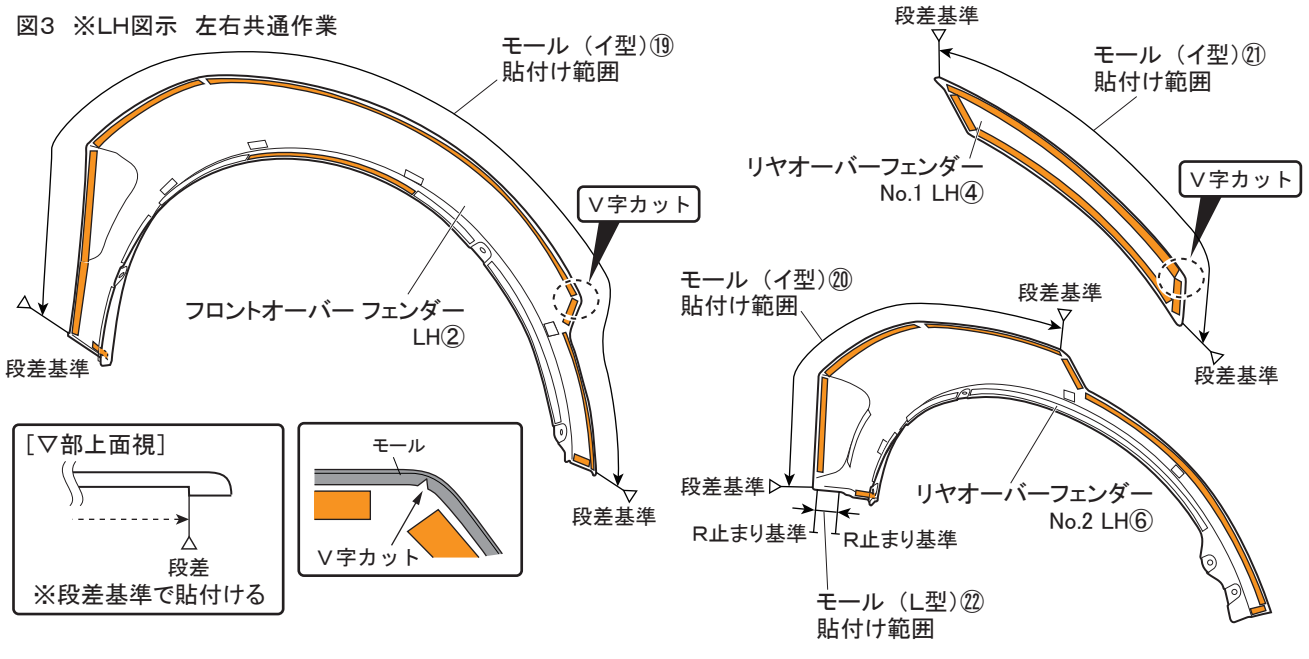


⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないよう注意してください。

2. 図3のようにフロントオーバーフェンダー①②、リヤオーバーフェンダーNo.1③④、リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥にモール⑲⑳㉑(イ型)、モール㉒(L型) の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

図3　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

■ 取付準備、取付要領

※MS315-10004 の場合は、⑬⑭ステッカーの貼付け作業はありません。
次ページの「ブラックアウトフィルムの貼付け」を行ってください。

□ステッカーの貼付け

1. 図4のようにフロントオーバーフェンダー①②、リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥のステッカーFR⑬、ステッカーRR⑭貼付け面の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

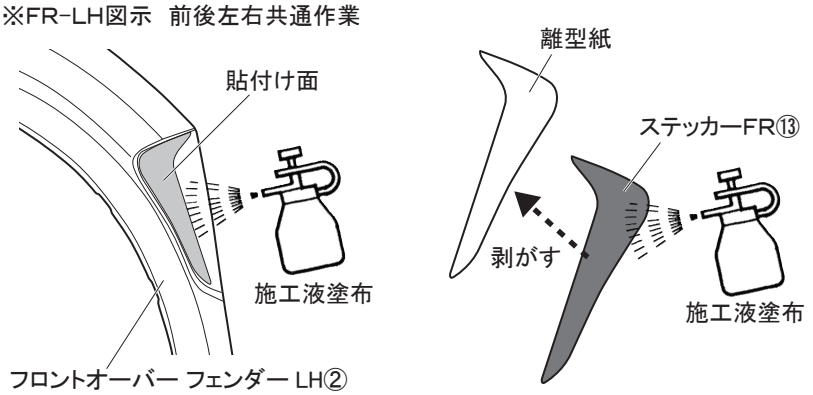
図4　※LH図示　左右共通作業

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

2. 図5のようにオーバーフェンダーの貼付け面及びステッカー⑬⑭の離型紙を剥がし、貼付け面に施工液を霧吹きで塗布する。

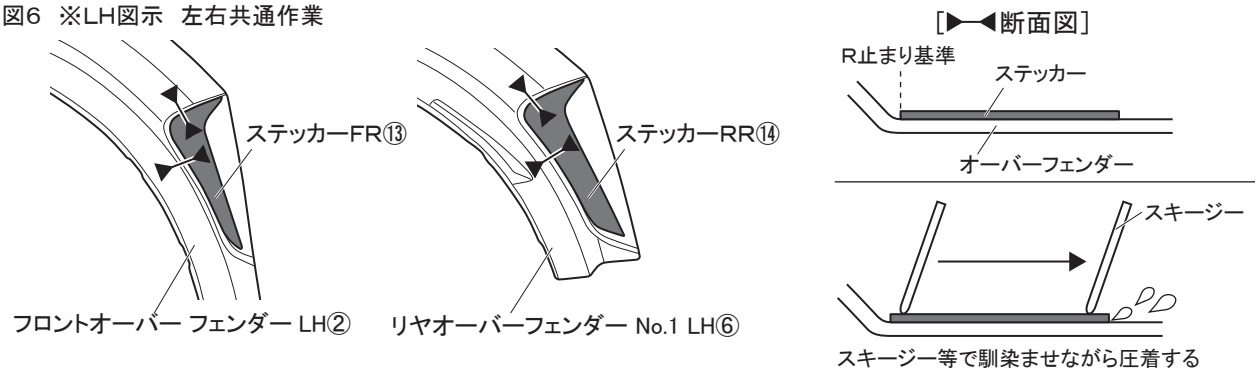
図5　※FR-LH図示　前後左右共通作業



施工液
中性洗剤を水道水で約 0.5%
濃度に薄めて使用してください。

3. 図6のようにフロントオーバーフェンダー①②、リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥にステッカーFR⑬、ステッカーRR⑭を貼付け、形状に合わせながら馴染ませるようにスキージー等で圧着する。

図6　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：ステッカー端末に浮きが無いことを確認してください。浮きが発生した場合は柔らかい布等で水分を拭き取りながら再度圧着してください。

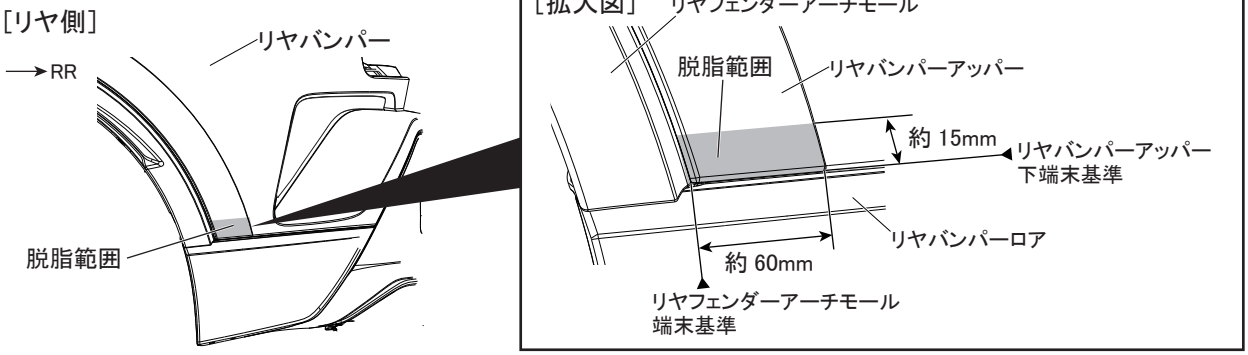
アドバイス　ステッカーの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
ステッカーの取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（製品の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

※MS315-10002/3 の場合は、「オーバーフェンダーの取付準備」に進み作業を行ってください。

□ブラックアウトフィルムの貼付け［MS315-10004 のみ作業］

1. 図7のように車両リヤバンパーのブラックアウトフィルム㉔貼付け面の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

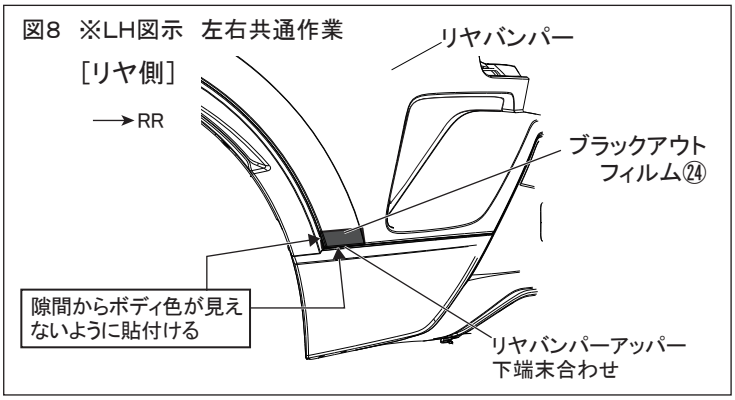
図7　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

図8　※LH図示　左右共通作業



2. 図8のようにリヤバンパーにブラックアウトフィルム㉔を貼付け、 圧着する。（左右各1箇所）

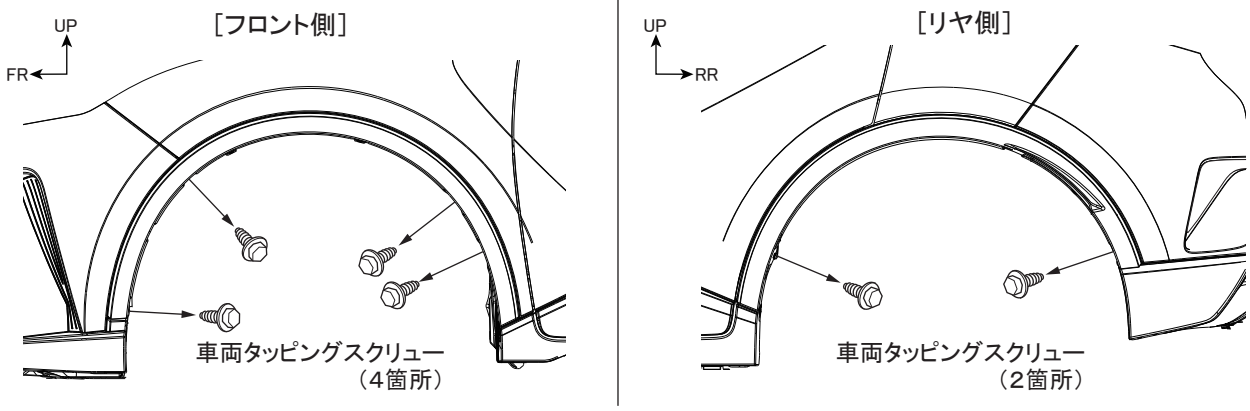
アドバイス：ボディ色が見えないように貼付けてください。

※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示して おり、RH側も同様に行ってください。

□オーバーフェンダー取付準備

1. 図9のように前後のホイールハウス部の車両タッピングスクリューを取外す。
（FR：左右各4箇所、RR：左右各2箇所）

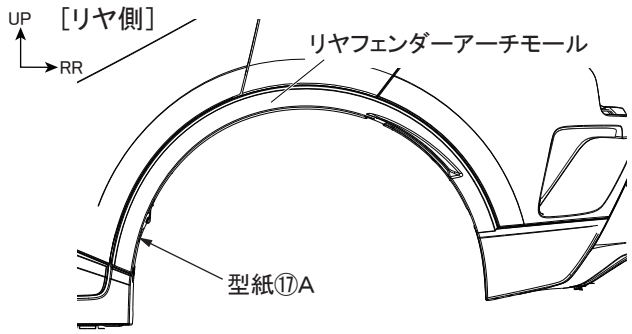
図9　※LH図示　左右共通作業

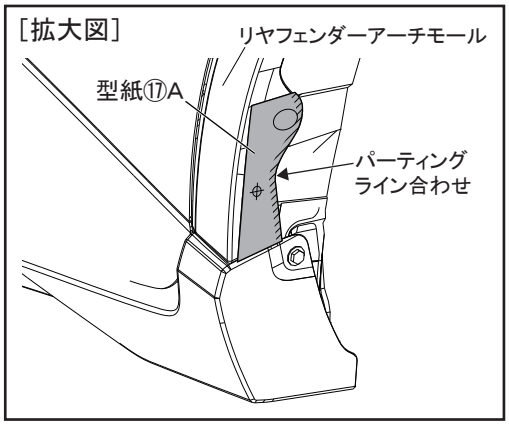


⚠注意：取外した車両タッピングスクリューは、 一部再使用しますので無くさないように必ず保管してください。

2. 図 10 のようにリヤフェンダーアーチモール前側のホイールハウス折り返し部に型紙⑰Aを貼付ける。（左右各1箇所）

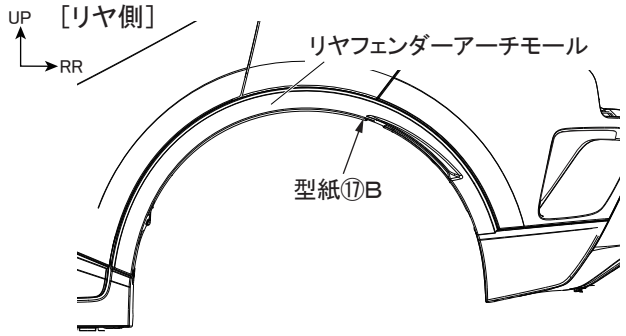
図 10　※LH図示　左右共通作業





3. 図 11 のようにリヤフェンダーアーチモール上部に型紙⑰Bを貼付ける。（左右各1箇所）

図 11　※LH図示　左右共通作業



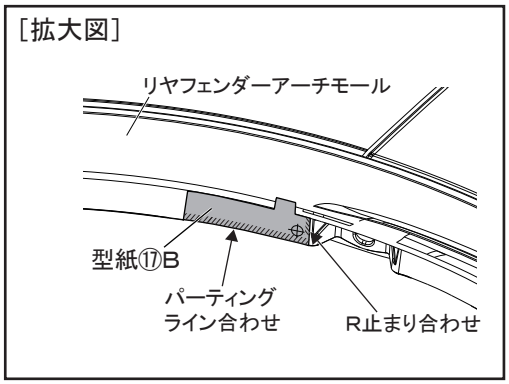
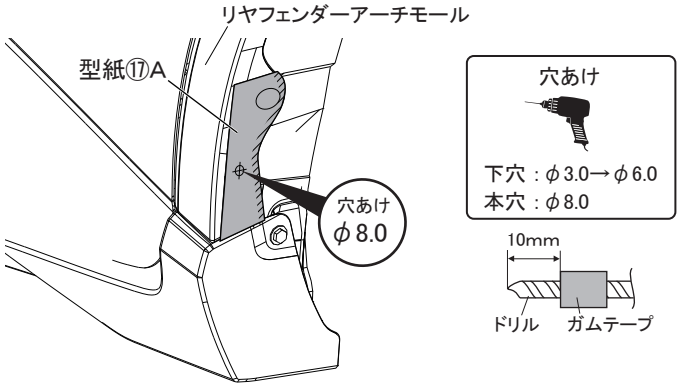


図 12　※LH図示　左右共通作業

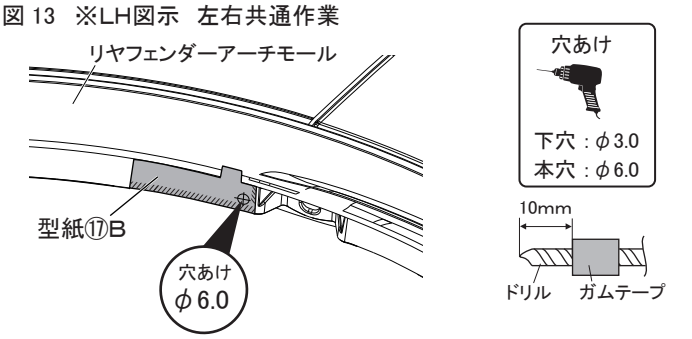


4. 図 12 のようにリヤフェンダーアーチモールの型紙⑰Aの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0 の順であけ、φ8.0 の本穴をあける。（左右各1箇所）

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

図 13　※LH図示　左右共通作業



5. 図 13 のようにリヤフェンダーアーチモールの型紙⑰Bの穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0 であけ、φ6.0 の本穴をあける。（左右各1箇所）

6. 型紙⑰A、Bを剥がし、穴周囲のバリを除去する。

7. 図 14 のようにフロント及びリヤフェンダーアーチモールの左図位置にスペーサーA⑩(FR: 左右各3箇所、RR左右各1箇所)、 スペーサーB⑪(FR: 左右各1箇所) を貼付け部を脱脂して貼付ける。(左右各1箇所)

図 14 ※LH図示 左右共通作業

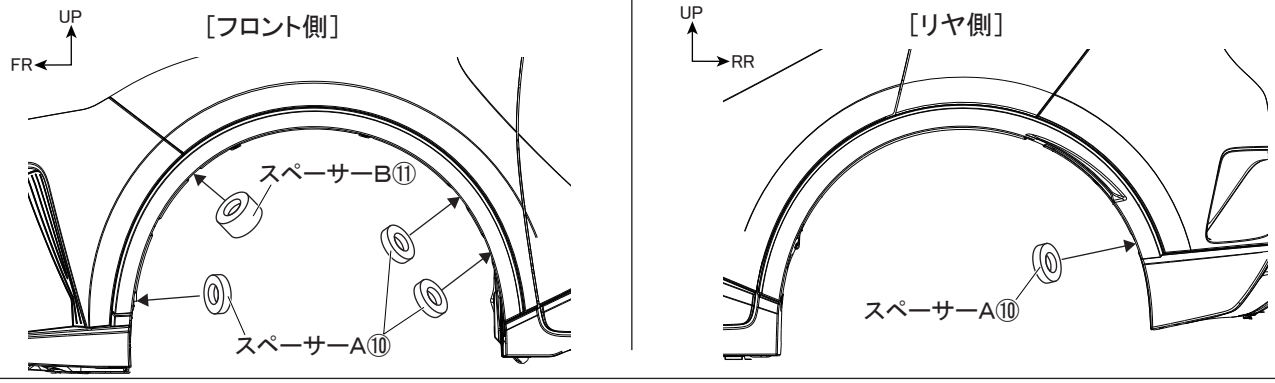
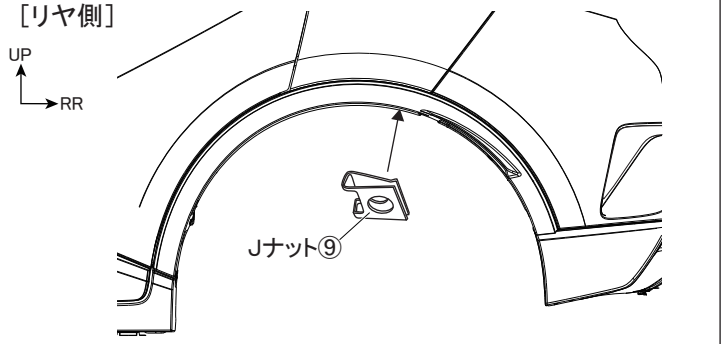
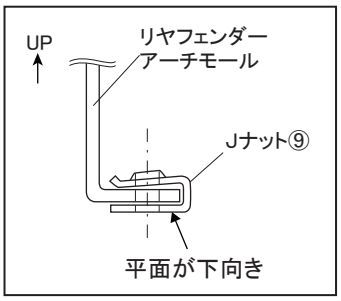


図 15※LH図示 左右共通作業



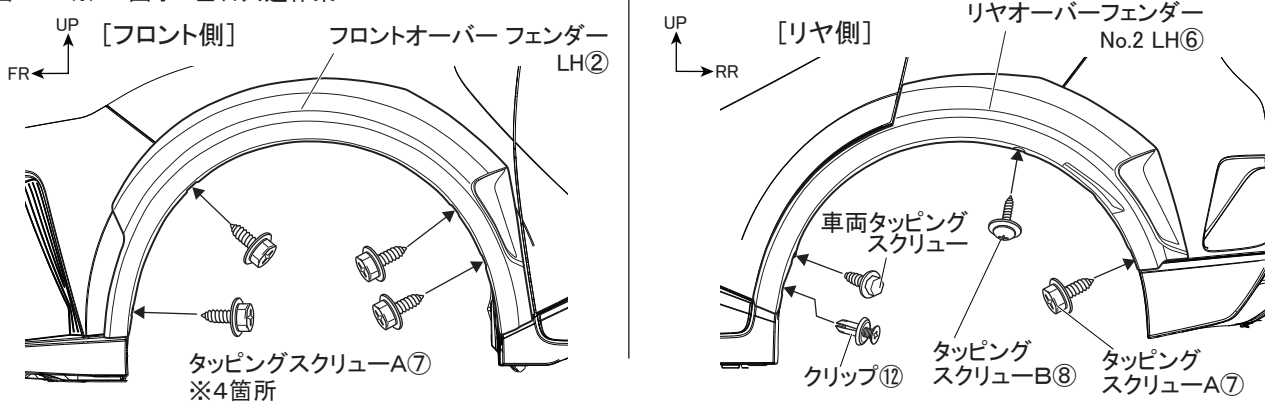
8. 図 15 のようにリヤフェンダーアーチモール左図位置に J ナット⑨を取付ける。
(左右各1箇所)



9. 図 16 のようにフロントオーバーフェンダー①②を車両にあて、 タッピングスクリューA⑦で仮締めし、 仮固定する。(左右各4箇所)

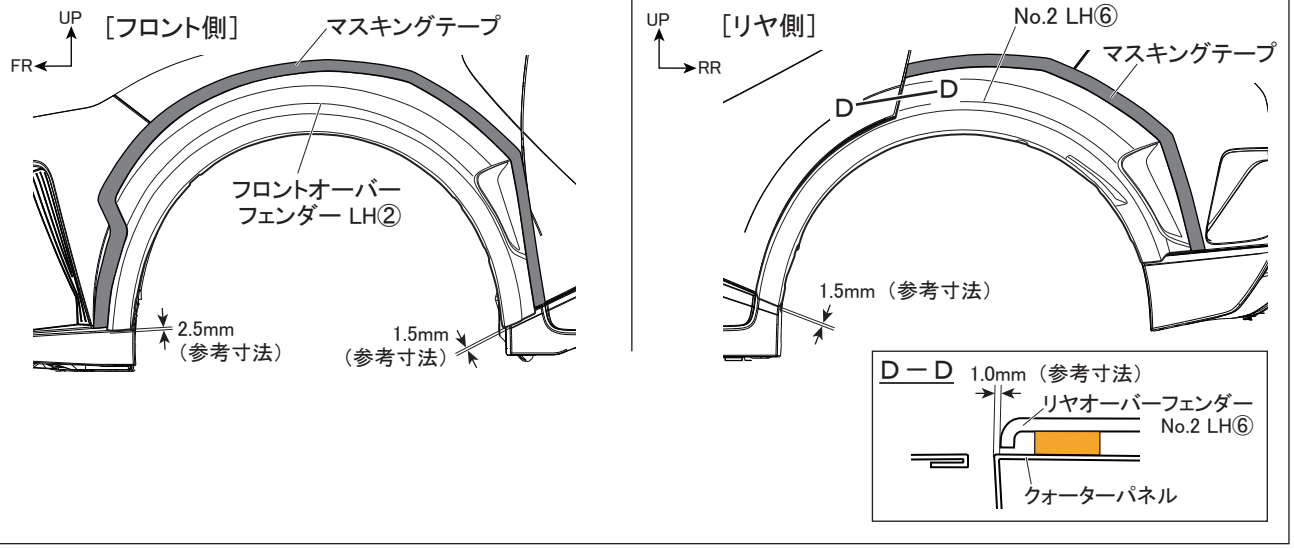
10. 図 16 のようにリヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥を車両にあて、 タッピングスクリューA⑦(左右各1箇所)、 タッピングスクリューB⑧(左右各1箇所)、 車両タッピングスクリュー (左右各1箇所)、 クリップ⑫(左右各1箇所)で仮固定する。

図 16 ※LH図示 左右共通作業



11. 図 17 のようにフロントオーバーフェンダー①②、リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥の取付け位置、 各部の隙を確認し、 取付け位置を決めてオーバーフェンダー端末（モール貼付け部はモール端末）に合わせて車両にマスキングテープを貼付ける。

図 17　※LH図示　左右共通作業



⚠注意 : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、 マスキングを行ってください。

12. 図 18 のようにリヤオーバーフェンダーNo.1③④を車両リヤドアにあて、 リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥の高さに合わせ位置決めし、 養生テープ等で仮固定する。

図 18　※LH図示　左右共通作業

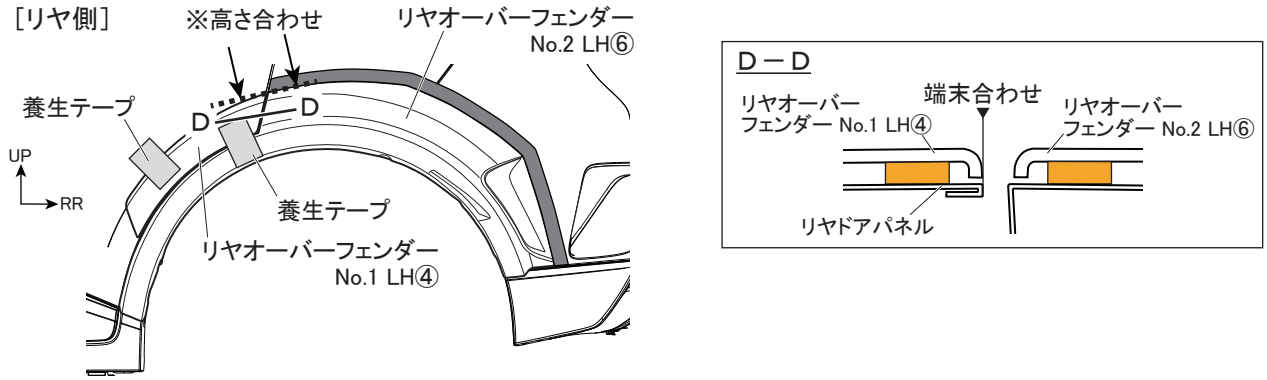
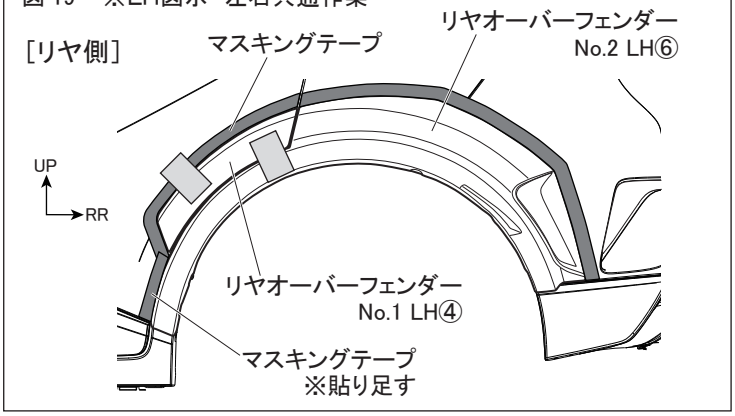


図 19　※LH図示　左右共通作業



13. 図 19 のようにリヤオーバーフェンダーNo.1③④の取付け位置、 各部の隙を確認し、 取付け位置を決めて端末（モール貼付け部はモール端末）に合わせて車両にマスキングテープを貼付ける。

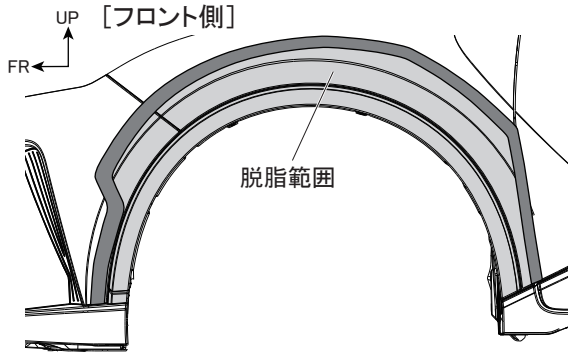
14. 図 19 のようにリヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥のリヤドア部取付け部にマスキングテープを貼り足す。

⚠注意 : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、 マスキングを行ってください。

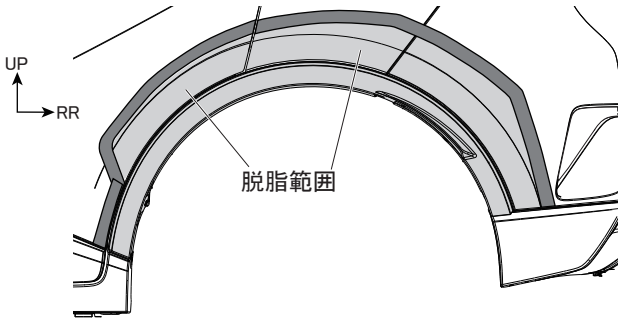
15. オーバーフェンダー①～⑥を全て取外す。

16. 図 20 のようにオーバーフェンダー①～⑥の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

図 20　※LH図示　左右共通作業



［リヤ側］

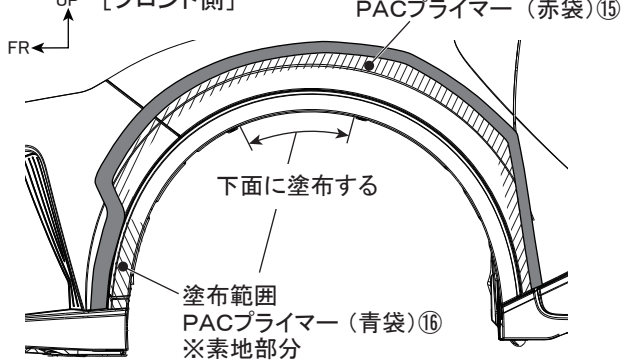


⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

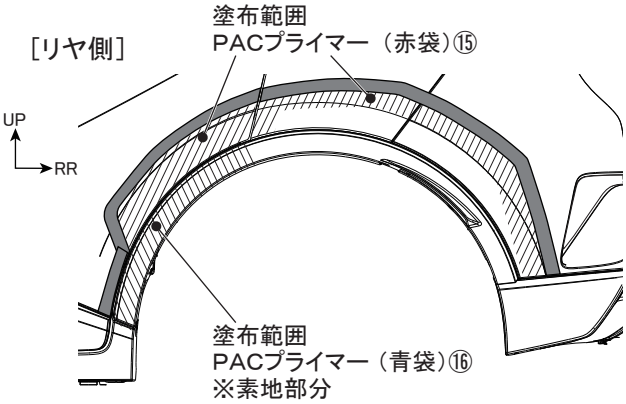
アドバイス : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

17. 図 21 のようにオーバーフェンダー①～⑥の両面テープ貼付け部（下図斜線部）にPACプライマー（赤袋）⑮及び、 PAC プライマー（青袋）⑯を塗布する。

図 21　※LH図示　左右共通作業



［リヤ側］



⚠注意 : PAC プライマーは、 必ず塗布部位により使い分けてください。

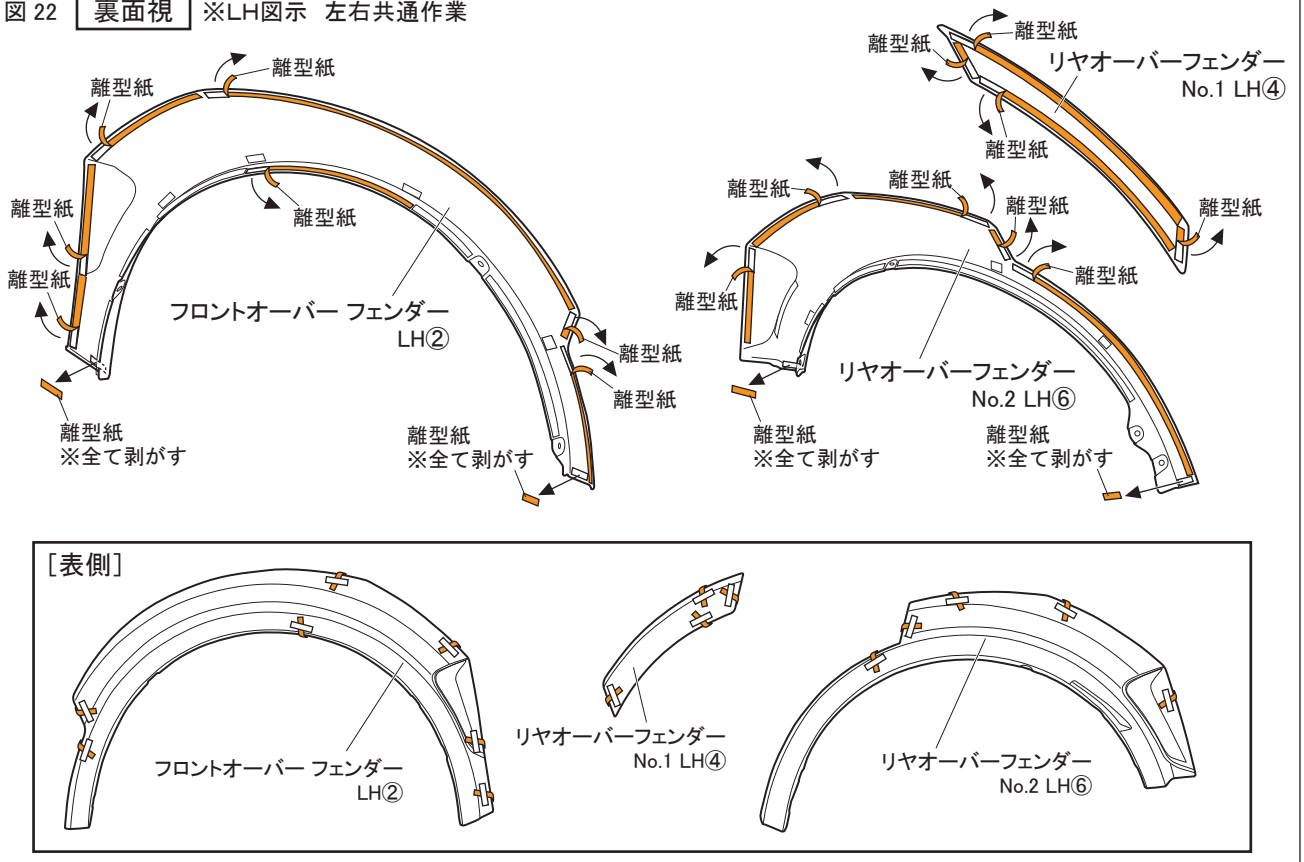
- 塗装部分 :N－200（赤袋）
- 素地部分 :K－500（青袋）

⚠注意 : プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、 直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、 変色する事がありますので注意してください。

18. マスキングテープを全て剥がす。

19. 図 22 のようにオーバーフェンダー①～⑥の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

図 22 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



⚠注意 : 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、 貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

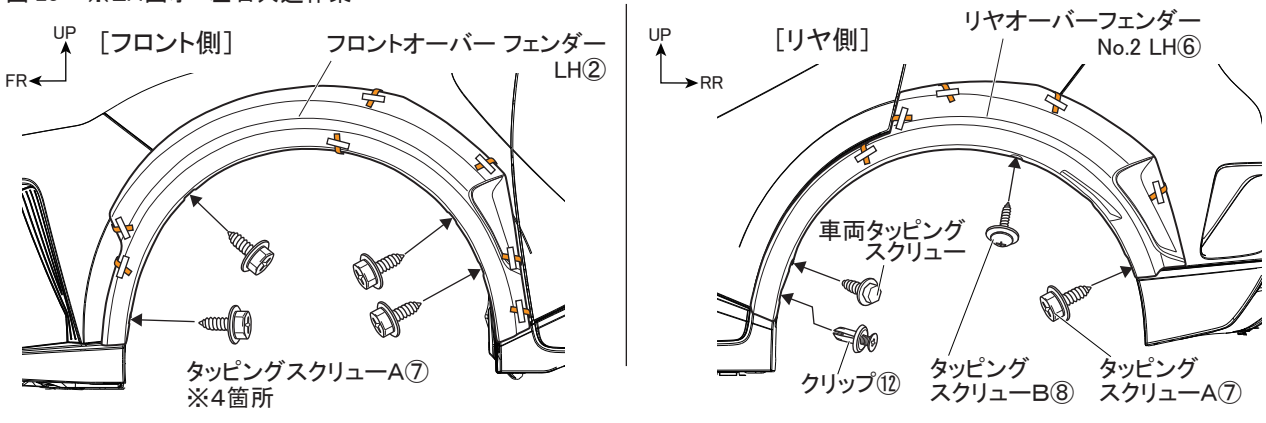
※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示して おり、RH側も同様に行ってください。

ロオーバーフェンダー取付要領

1. 図 23 のようにフロントオーバーフェンダー①②を車両にあて、 タッピングスクリューA⑦で仮締めし、 仮固定する。（左右各4箇所）

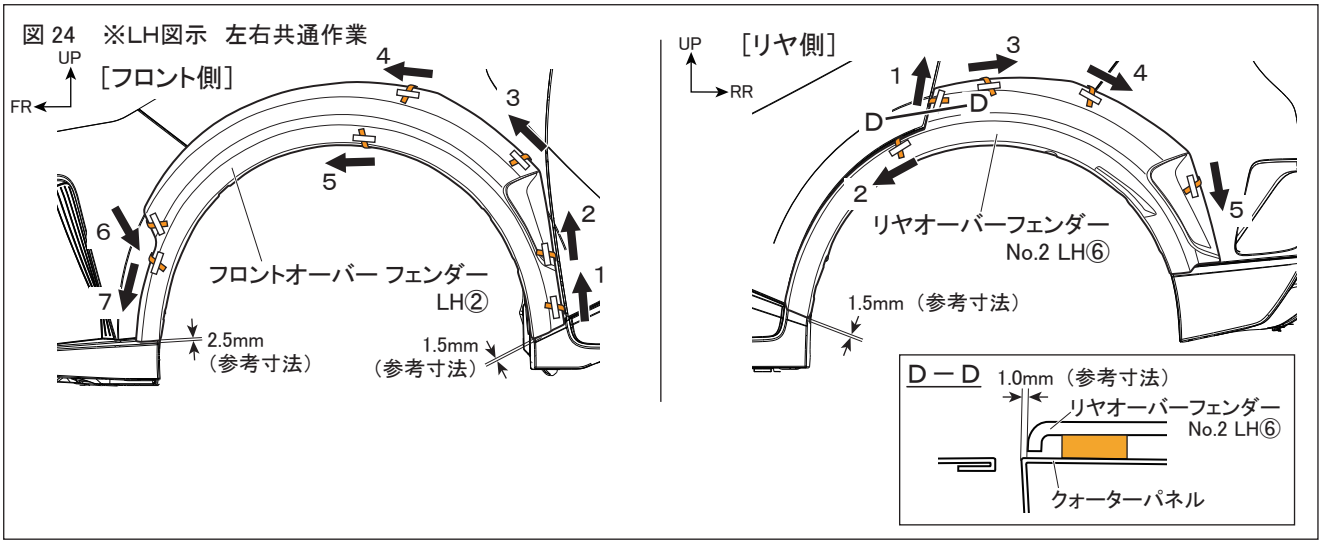
2. 図 23 のようにリヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥を車両にあて、 タッピングスクリューA⑦、 タッピングスクリューB⑧、 車両タッピングスクリュー、 クリップ⑫で仮固定する。

図 23 ※LH図示 左右共通作業



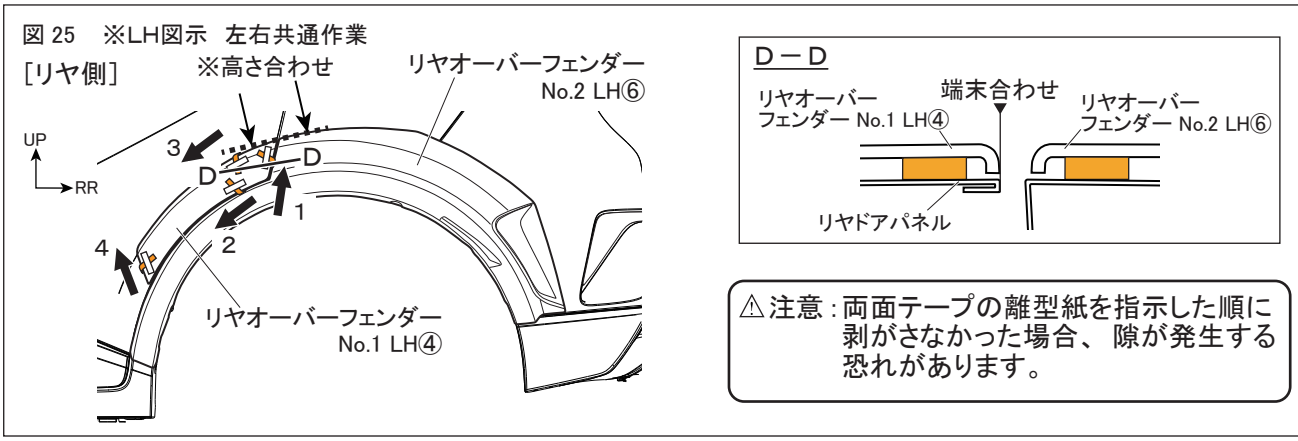
3. 図 24 のように取付け位置、 各部の隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

図 24　※LH図示　左右共通作業



4. 図 25 のようにリヤオーバーフェンダーNo.1③④を車両リヤドアにあて、リヤオーバーフェンダーNo.2⑤⑥の高さに合わせ位置決めし、 取付け位置、 各部の隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

図 25　※LH図示　左右共通作業



⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生する恐れがあります。

アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、 最低3時間程度、 強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。 圧着が不十分な場合、 浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、 24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、 剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

5. タッピングスクリューA⑦、 タッピングスクリューB⑧、 車両タッピングスクリューを本締めする。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認する。
2. 車両及びオーバーフェンダー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

Racing Development TRD